

JA北河内自己改革取組宣言

JA北河内は、農を基軸に総合事業を展開し、組合員・利用者と地域社会の「しあわせをつなぐ」自己改革に取り組みます。

組合員をはじめとする地域住民の皆様の課題に向き合い「地域農業の振興と農家所得の向上」「豊かなくらしの実現と地域貢献」「健全経営による信頼の確保」を柱に、コミュニケーションによる知恵の結集と協働により、総合的なサービスを通じて、豊かな地域社会づくりに貢献します。



協同組合は、組合員の一人ひとりが力をあわせて、みんなの願いをかなえていく組織です。



- ◆ JAは、農業に従事する正組合員と、JAの事業利用を希望し加入いただいた農業者以外の地域住民等である准組合員により組織され、「農」と「くらし」を守るために、信用・共済・経済・営農生活等の事業を行う総合事業体として、組合員と地域の皆様の「しあわせ」づくりに取り組んでいます。
- ◆ 地域の都市農業は安全・安心な食の提供を支えるとともに、環境保全や防災、食農教育の場の提供、健康や長寿につながる生きがいづくり等の機能を有しています。
当JAが健全な経営基盤を確立し、地域の都市農業の持続的な発展を支えるため、農業担い手づくりや農産物販売の充実を図る農業施設設備投資、営農指導の充実等の施策を進めるには、総合事業の展開と正組合員のみならず准組合員の事業利用が不可欠です。
- ◆ これからも、正組合員・准組合員はもとより地域住民の皆様に、総合事業の展開を通じて、信頼され、必要とされるJAを目指し、自己改革に取り組んでまいります。

自己改革の主な具体的取り組み

地域の都市農業を振興するための営農指導事業における「営農改善費」の予算（総額）は69,011千円となっています。（※予算・計画値は令和元年度）

アグリスクール（農業塾）の開講による、販売農家を目指す生産者の育成
・営農改善費のうち当該予算（別途講師費用含む）792千円

「エコレンゲ栽培米」「にこまる」の作付奨励等による、生産量・出荷量の増加
・営農改善費のうち当該予算1,755千円

農業体験ニーズに応え、食と農の大切さを伝える農業体験付定期貯金「みのりっこ」の募集
・信用雑費用のうち当該予算180千円
・農業体験参加者数500名/募集口数130口/
募集金額（合計）39,000千円

直売所・インショップ等の拡充による、農産物販売の増大
・青果品販売計画84,000千円

「来て！見て！野菜の夕市」の開催による、地域の都市農業のPR、生産者組織の活性化
・営農改善費のうち当該予算3,056千円

准組合員モニターからの意見等を事業活動等の改善につなげる取り組み
・教育情報費のうち当該予算458千円

「農」と「くらし」の組合員ニーズに機動的に対応するための農業法人の設立
・法人設立出資金30,000千円

宣言日：令和元年6月22日